

【問合せ先】

(本プロジェクト・AI技術・大学の研究に関すること)

関東学院大学 広報課 伊波 裕美子 045-786-7049

(ドローンや高校での取り組みに関すること)

神奈川県立海洋科学高等学校 原田 貴博、木村 有昭 046-856-3128

(取り締まりに関すること)

横須賀海上保安部 警備救難課 久保 祐一郎 046-862-0118

(水産振興・市政に関すること)

横須賀市 経済部農水産業振興課 杉山 裕二 046-822-8295

ドローンとAIで密漁に挑む!!

～産学官連携による次世代型密漁対策の実証実験を開始～

(関東学院大学・神奈川県立海洋科学高等学校・横須賀市・横須賀海上保安部が連携)

横須賀市の沿岸部では、アワビやサザエなどの密漁が後を絶たず、漁業関係者に深刻な被害をもたらしており、水産資源の保護が喫緊の課題となっています。一方で、広大な海岸線や夜間における監視・取り締まりは、人によるパトロールだけでは限界があります。

そこで、関東学院大学（情報学部（設置届出中）元木 誠 教授）が開発を目指しているドローンとAI（人工知能）技術を活用した密漁監視・取り締まりシステムに対し、神奈川県立海洋科学高等学校、横須賀海上保安部及び横須賀市が全面的に協力。この横断的な産学官連携により、システムの構築に向けた実証実験を合同で開始することをお知らせいたします。

本プロジェクトは、ドローンの機動力とAIの高度な画像解析能力を組み合わせることで、監視体制を効率化・高度化し、密漁の抑止力強化を目指します。将来的には、ドローンが密漁者を自動で検知し、関係機関へ即時通報するシステムの社会実装を目標としております。

【実証実験の概要】

本実証実験は、以下の二段階に分けて実施します。

1. 第一段階（AI教師データの撮影と学習モデルの構築）

海上保安官を密漁者役に見立て、ドローンで撮影した映像をAIに学習させます。これにより、密漁行為に特有の道具や動きをAIが認識できるようになります。

時期：2025年7月5日（土）10:00～12:00（予備日：7月6日（日））

場所：長井漁港周辺（横須賀市長井）（下図参照）

内容：海上保安官が密漁者役となり、岩場に隠れる、海に潜る、採捕物を袋に入れるといった典型的な密漁行動を再現します。これらの様子をドローンで様々な角度・高度から撮影する。撮影した映像を関東学院大学 元木教授が解析、密漁者検知AIの学習データとして活用します。



2. 第二段階（実海域における有効性検証）

第一段階で開発したAIシステムを搭載したドローンを、実際の密漁多発海域で飛行させ、システムの有効性を検証します。

時期：2025年8月下旬（予定）

場所：横須賀市内の密漁多発海域（予定）

内容：AI搭載ドローンを密漁多発海域で自律航行させる。密漁が疑われる人物をAIが自動で検知できるか、その精度と実用性を評価・検証する。

【報道関係者の皆様へ：取材のご案内】

本プロジェクトの第一段階となる、AI教師データ撮影の様子を報道関係者の皆様に公開いたします。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2025年7月5日（土）10:00～12:00

集 合 場 所：長井漁港（長井町漁協魚市場前）（横須賀市長井5-24-6）

参 加 機 関：関東学院大学、神奈川県立海洋科学高等学校、横須賀海上保安部、横須賀市

取 材 内 容：プロジェクト概要説明

ドローンの飛行および、海上保安官による密漁者役の再現シーン撮影

各機関担当者（関東学院大学、神奈川県立海洋科学高等学校、横須賀海上保安部、横須賀市）への囲み取材

お申込み方法：取材を希望される社は、7月4日（金）12:00までに、別添様式へ必要事項を記入し、横須賀海上保安部に返信（FAX）をお願いします。なお、駐車場は自社にて確保いただくとともに、取材の際には腕章の着用をお願いします。集合同所が不明な場合は、横須賀海上保安部までご連絡願います。

※延期基準（当日7:00までに判断）

- ・大雨（小雨決行）
- ・強風又は波浪のいずれかの警報が発令されている場合
- ・その他、災害の発生など実施が困難な場合

横須賀海上保安部警備救難課 行

「ドローンを活用した実証実験①について」

取材日：令和7年7月5日（土）

取材申込書

社名	
氏名	
同行者	

代表者 連絡先 (電話番号)	
----------------------	--

【送付先】

横須賀海上保安部警備救難課長

FAX 046-861-8379